



Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan

tel +81 (0)3 6434 7010

fax +81 (0)3 6434 7011

web [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)

email [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com)

## オスカー・ムリーリョ 「geopolitics (manifestations)」

会期: 2021年9月4日(土) - 10月2日(土)

会場: タカ・イシイギャラリー (complex665)

タカ・イシイギャラリーは9月4日から10月2日まで、オスカー・ムリーリョによる展覧会「地政学—マニフェステーション」を開催いたします。ムリーリョの当画廊での初個展となる本展は、力強い新作のペインティングで構成されています。これらの新作は、アーティストの「マニフェステーション」シリーズの一環として、嵐のような激動期にコロンビアのスタジオで制作されました。

「マニフェステーション」のペインティングには、ムリーリョ作品に特徴的な要素と技法が組み合わせられています。ペインティングの下地となるのはムリーリョが異なる場所や時間において制作したさまざまな要素を接ぎ合わせたものです。これにより複数のエネルギーが結合し、作品の基盤を形成しています。先行するシリーズと同様の手法が今回の制作プロセスにも取り入れられています。それはすなわち、顔料を染み込ませたキャンバスをスタジオの床に2枚重ね、からだ全体を使った動きでキャンバスからキャンバスにその跡を移しながら表現する方法です。アーティストはこれを「エネルギーのダウンロード」と呼んでいます。そしてそこに、太い線状の油彩で、鮮やかな色の層が足されていきます。作品表面に深みと、厚く塗った色彩の力強い筆跡が加えられるのです。こうした手法が作品の表面にダイナミックな、ほとんど彫刻的な質感を与え、結果として、複層的で陰影のある複雑な絵画が成立していると言えるでしょう。

新型コロナウイルスの世界的パンデミックの危機に際して、ムリーリョは2020年3月からコロンビアの故郷の町でアート制作と人道支援活動の両方に従事してきました。初公開となる今回の新作はそこで描かれたものです。2021年に入り、コロンビアでは大規模な抗議活動が起こり、それを封じようとする国家の暴力によって人びとの暮らしはますます困窮したものとなりました。この時期に描かれ、そこに存在したこれらのペインティングには、周りで起こったことの何かしらが吸収されている——つまり、それらはパンデミックにまつわる苦難の証人であると、ムリーリョは考えています。

シリーズのタイトルである「マニフェステーション」にはいくつかの意味がありますが、これもアーティストの意図によるものです。この言葉は、数カ国の言語において「政治的抗議」の意味でもっとも多く使われており、これがタイトルとなることによって、作品と、自分がどういう人間かを表明する非常に身体的で具体的な実践とが結びつけられています。つまり、身体を使ったアクションが政治の力に変わっているのです。ロンドン在住の批評家でありライターのロザンナ・マクラフリンが『Mixing It Up』(Hayward Gallery Publishing, 2021年)のなかで解説しています。「『マニフェステーション』シリーズは、グローバル資本主義がもたらした、行き場のない、そわそわした生き方への(ムリーリョの)応答だ。継ぎはぎのキャンバスは、抗議を繰り返すための場となっている。」

オスカー・ムリーリョが創り出してきた独自の視覚言語には、特定の要素やモチーフが繰り返し現れます。布の状態で垂らされた黒いキャンバス、解剖台を思わせる金属の構造体、何枚もの断片が大雑把に縫い合わされてできた大型のペインティング、スタジオの土埃、ごみやガラクタなどです。こうした素材やほかの構成要素が、ペインティングやビデオ作品、ひと部屋を占める大型のインスタレーションや行為など、多岐にわたるメディアによって展開されています。全作品を見れば、ムリーリョがコミュニティの概念やあり方についての探求を続け、それを発展させていることがわかるでしょう。ムリーリョが情報と学びを得る源は、文化を越えた個人的つながりや国境をまたいだ移動です。それらが彼の創作には不可欠なのです。

オスカー・ムリーリョは1986年コロンビアのラ・パイラ生まれ。現在は世界各地を拠点に活動している。2007年、英国、ウェストミンスター大学で美術の名誉学士号を取得、2012年にロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートの修士課程修了。2019年、ターナー賞を他3名のアーティストと同時受賞。近年の主な個展に、森美術館（2021年）、アスペン美術館（米国コロラド州、2020年）、クンストフェライン・ハンブルグ（2019-2020年）、ケンブリッジ大学ケトルズヤード（英国、2019年）、K11アート・ミュージアム（上海、2019年）、ハウス・デア・クンスト（ミュンヘン、2017-2018年）、ヤラト現代美術センター（ジョージア、バクー、2016-2017年）など。「Sonsbeek 20-24: Force Times Distance」（オランダ、アーネム、2021年）、「The Space Between Classrooms」スイス・インスティテュート（ニューヨーク、2021年）、「Ruth Ewan & Oscar Murillo」ヨークシャー彫刻公園（英国、2019年）、「Collision / Coalition」ザ・シェッド（ニューヨーク、2019年）、「We don't need another hero」第10回ベルリン・ビエンナーレ（2018年）、シャルジャ・ビエンナーレ13（アラブ首長国連邦、2017年）、第56回ヴェネチア・ビエンナーレ（2015年）などの国際展やグループ展に参加。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますようお願いいたします。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー 展覧会・プレス担当：水谷彩（press@takaishiigallery.com）

〒106-0032 東京都港区六本木 6-5-24 complex665 3F tel: +81 (0) 3 6434 7010 fax: +81 (0) 3 6434 7011

e-mail: tig@takaishiigallery.com website: [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)

営業時間：12:00-18:00 定休日：日・月・祝祭日



Oscar Murillo  
"manifestation", 2019-2020 (detail)  
Oil, oil stick, cotton thread and graphite  
on canvas, velvet and linen

© Oscar Murillo  
Photo: Jack Hems